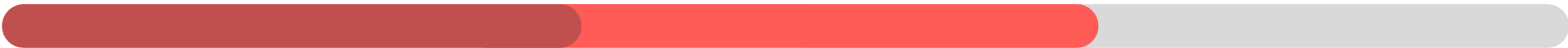


2023年3月期

決算説明資料



2023年5月12日

エンシュウ株式会社

(東証プライム 6218)

INDEX

1. 連結業績サマリー
2. 工作機械事業
3. 受注状況
4. 部品加工事業
5. 配当予想
6. 中計達成に向けて
7. 参考情報

将来見通しに関する注意事項及び免責事項

本資料に掲載されている情報には、業績予想・事業計画等の将来の見通しに関するものが含まれています。これらの情報については、現時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含むものです。当社としてその実現や将来の業績を保証するものではなく、実際の業績はこれら将来の見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

また、本資料は当社についての情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却等の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断において行っていただくようお願いいたします。

1. 連結業績サマリー：2022年度四半期推移

2022年度 決算要旨

第4四半期に大幅好転し、通期にて営業利益黒字確保

工作機械事業：第4四半期はサービス・汎用機・現地法人の収益改善により業績好転
通期で国内販売が大きく伸長し、前期を上回る売上を確保

部品加工事業：二輪関係が好調、四輪関係も期末にかけ回復基調
原価高騰の価格転嫁が進み下期利益改善

(単位:百万円)	2022年度					2021年度 実績
	第1四半期 実績	第2四半期 実績	第3四半期 実績	第4四半期 実績	通期 実績	
売 上 高	4,842	6,076	5,960	7,935	24,813	23,904
工作機械事業	1,939	3,097	3,147	4,994	13,177	12,412
部品加工事業	2,885	2,961	2,795	2,924	11,565	11,421
営 業 利 益	△144	△205	△205	634	79	751
(営 業 利 益 率)	(△3.0%)	(△3.4%)	(△3.4%)	(8.0%)	(0.3%)	(3.1%)
工作機械事業	△258	△269	△302	498	△332	143
部品加工事業	101	51	85	125	362	557
(3.5%)	(1.7%)	(3.0%)	(4.3%)	(3.1%)	(4.9%)	
経 常 利 益	△90	△248	△398	697	△39	638
当 期 純 利 益	△181	△299	△244	620	△104	370

1. 連結業績サマリー：2023年度業績予想

2023年度 業績予想

2023年度予想:工作機械 増収・利益改善、部品加工 大幅増収・増益、黒字化

工作機械事業：体制拡充により、サービス、国内汎用機、現法の受注・売上増加、利益率改善
 部品加工事業：新規受注、客先の生産量増加により仕事量は確保
 価格転嫁、客先需要安定に伴い収益改善

(単位:百万円)	2021年度 通期実績	2022年度 公表値(2/10)	2022年度 通期実績	2023年度 業績予想
売上高	23,904	25,000	24,813	28,600
工作機械事業	12,412	13,400	13,177	14,500
部品加工事業	11,421	11,530	11,565	14,000
営業利益 (営業利益率)	751 (3.1%)	200 (0.8%)	79 (0.3%)	1,050 (3.7%)
工作機械事業	143 (1.2%)	△230 (△1.7%)	△332 (△2.5%)	0 (0.0%)
部品加工事業	557 (4.9%)	380 (3.3%)	362 (3.1%)	1,000 (7.1%)
経常利益	638	0	△39	750
当期純利益	370	△95	△104	500

為替レート (USD/JPY)
(EUR/JPY)

112
131

134
140

134
140

※ 123
※ 139

2. 工作機械事業：地域別連結売上高

2022年度実績

国内販売が大幅拡大、アジアで減少

- ・国内(システム):大型案件受注により増加
- ・国内(汎用機):販売網構築で売上前期比倍増
- ・北米:高位横ばい
- ・欧州:汎用機売上堅調
- ・アジア:前年システム案件の影響により減少

2023年度予想

国内販売更に拡大、アジアも売上増

- ・国内外ともに受注回復を受け、増収を予想
- ・サービス部門の人員拡充により収益拡大
- ・北米:販売体制を充実させ増収を見込む
- ・アジア:ASEAN地域売上増加

(単位:百万円)	2021年度 通期実績	2022年度 業績予想(2/10)	2022年度 通期実績	2023年度 通期業績予想
国内売上	3,275	6,065	5,616	6,970
海外売上	9,136	7,335	7,561	7,530
アジア	5,256	3,759	3,892	4,637
北米	2,265	2,231	2,187	2,567
欧州	1,611	1,343	1,480	326
売上高	12,411	13,400	13,177	14,500

3. 受注状況：工作機械事業 連結受注高推移

国内外ともに前期比減少

- ・自動車業界のEV量産化に向けた投資立上が遅れていること、
既存エンジン関連の投資も想定より大幅に落ち込んだことにより受注減
- ・国内汎用機・サービス部門では受注増加も、上記落ち込みを補いきれず

(単位:百万円)	2021年度 実績	2022年度 実績	増減率	【参考】日工会受注推移		
				(単位:百万円)	2022年度	増減率
受 注 高 総 額	15,005	11,792	△21.4%	受 注 高 総 額	1,705,623	+2.3%
国 内 受 注 高	5,783	4,731	△18.2%	国 内 受 注 高	581,667	+2.7%
海 外 受 注 高	9,222	7,061	△23.4%	海 外 受 注 高	1,123,956	+2.1%
				自 動 車 (国 内)	128,897	+2.7%

※集計期間:現地法人 1月～12月、本社 4月～3月

3. 受注状況：工作機械事業 連結受注高推移

2023年度は受注回復を見込む

- ① EVシフトをキャッチアップ:EV専属チームにて対応
- ② エンシュウコネクテッド、国内汎用機(商社販売)、新分野への展開
- ③ サービス:人員増、既存EG部門→メンテナンスやオーバーホール需要
- ④ 北米及びアセアン地域での販売体制整備

(単位:百万円)	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 通期目標
受 注 高 総 額	15,005	11,792	15,528
国 内 受 注 高	5,783	4,731	7,302
海 外 受 注 高	9,222	7,061	8,226
受 注 残 高	7,229	5,843	6,871

※集計期間:現地法人 1月～12月、本社 4月～3月

4. 部品加工事業：連結売上高・営業利益

2022年度実績

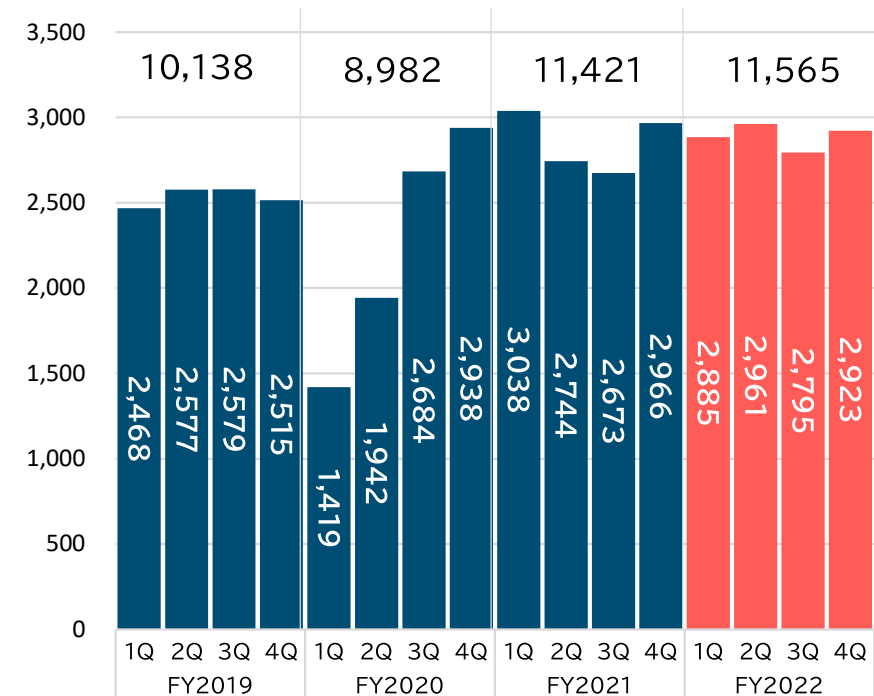
前期比増収も原価高騰により減益

- ・ 二輪関連、船外機関連の仕事量が増加し収益に寄与
- ・ 四輪関連は上期落ち込みも、下期からは仕事量が回復
- ・ 電力料・物流費等の原価高騰も、価格転嫁が進み下期収益改善

2023年度予想

売上・利益ともに大幅に増加

- ・ 本社、現地法人ともに旺盛な製品需要に支えられ増収予想
- ・ 新規受注、客先生産安定により収益改善
- ・ 価格転嫁及び更なるコストダウン活動により、利益率向上



(単位:百万円)	2021年度 通期実績	2022年度 公表値(2/10)	2022年度 通期実績	2023年度 業績予想
売上高	11,421	11,530	11,565	14,000
営業利益	557	380	362	1,000
営業利益率	4.9%	3.3%	3.1%	7.1%

5. 配当予想

●普通株式に係る年間配当

2023年3月期末配当につきましては、通期業績は赤字となりましたが、株主様に安定的かつ継続的な配当を実施することなどを勘案し、**1株当たり13円(前期同額)**とさせていただきます。

なお、剰余金の配当につきましては、2023年6月29日開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

2024年3月期末配当については、通期業績予想を勘案し1株当たり18円を予想しております。

基準日	普通株式1株当たり配当金			
	2021年3月期末	2022年3月期末	2023年3月期末	2024年3月期末 配当予想
普通配当	円銭 5.00	円銭 13.00	円銭 13.00	円銭 18.00
配 当 性 向	12.6%	22.1%	—	22.7%
配当利回り	0.51%	1.81%	1.93%	※ 2.67%
D O E (自己資本配当率)	0.3%	0.8%	0.8%	—

6. 中計(チャレンジ500) 達成に向けて

進捗状況

		2021年度	2023年度	2025年度
売上高	計画	24,900	30,000	50,000
	実績見込	23,904	28,600	
営業利益	計画	400	1,500	3,500
	実績見込	751	1,050	
営業利益率	計画	1.6%	5.0%	7.0%
	実績見込	3.1%	3.7%	

中期経営計画(チャレンジ500)につきましては、3年目は計画を下回る見込みとなっておりますが、以下の施策により、中計達成を図っていく所存です。

工作機械事業 ◆事業構造の変革

- ✓ SIER子会社(エンシュウコネクティッド)とサービス事業の強化(大幅増員)
- ✓ システム 事業のテコ入れ
 - ・ EV量産化に向け国内外のフォロー体制を構築
 - ・ 新規市場の開拓(⇒ 医療業界向け専用機械 受注内定)
 - ・ エンジン市場は、既存機械の保守、改造需要の取り込み
- ✓ 汎用機事業の強化
 - ・ 商社との関係強化により受注拡大
- ✓ 北米、アセアン地域の営業強化
- ✓ 国内外におけるOEM事業への取組み

部品加工事業 ◆利益率改善(仕事量は順調に拡大)

- ✓ 生産負荷変動対応によるコスト削減
- ✓ 理論値生産活動や自動化等による労務費率の改善

7. 参考情報：会社概要

商 号	エンシュウ株式会社
証 券 コ ー ド	東証プライム 6218
設 立	1920年2月5日
本 社 所 在 地	〒432-8522 静岡県浜松市南区高塚町4888番地
代 表 者	代表取締役社長 鈴木 敦士
資 本 金	46億4,085万円
連結子会社数	8社（海外8社）
従 業 員 数	1,025名（連結） ※2023年3月末
事 業 内 容	●工作機械及び部品の製造並びに販売 ●二輪車用エンジン・バギー車・雪上車・ゴルフカー マリン及び四輪車の部品加工
決 算 期	3月末
単 元 株 式 数	100株

繋ぐ技術を、世界へ

「我々の技術で、
機械が繋がる、
お客様と繋がる、
社員が繋がる、そして未来が繋がる」

